

## 4. スポーツを活用した地域活性化

長崎県スポーツコミッション（※）を活用し、国体等の成果として得られた、施設・大会運営のノウハウ・県民のスポーツに対する機運等を活かして、国内外のトップレベルチームの試合や合宿の誘致、大規模なスポーツイベントの開催など、本県の魅力あるスポーツ資源と観光を結びつけた新たな旅行形態を創出し、国内外からの交流人口を拡大することで、地域の活性化を図ります。

### 【数値目標等】

#### ★ スポーツコンベンション（大会）参加者数

平成26年度 21.4万人 ⇒ 平成32年度 25.0万人

#### ★ キャンプ地拠点設置数

平成26年度 0拠点 ⇒ 平成32年度 4拠点

### (1) スポーツツーリズム(スポーツ観光)による地域活性化

#### 【現状と課題】

国体等では、県民が「スポーツに親しみ、スポーツを楽しみ、スポーツを支える」といったスポーツに参加することにより、スポーツを通じた人の輪が広がり、地域の活性化につながりました。

国体等を契機として、県民のスポーツに対する関心の高まり、県内スポーツ施設の充実や競技役員、ボランティア等の養成、スポーツ大会運営のノウハウの蓄積などにより、国内トップレベルのスポーツ競技大会や国際試合など、注目度や集客力が高い大規模なスポーツイベント及びスポーツ合宿（以下「スポーツイベント等」という。）の誘致や開催・運営ができる環境が整ってきました。

※スポーツコミッションとは、県内のスポーツ資源や観光資源を最大限活用し、地域スポーツの振興と地域経済の活性化を目的として、各種競技大会等スポーツイベントの積極的な誘致に取組み組織を言います。

トップレベルのスポーツイベント等の開催は、「観るスポーツ」として、子どもたちに夢や感動を与え、幅広い年齢層のスポーツへの関心を高めることで、本県のスポーツ振興を図るとともに、地域の活性化や経済効果などが大いに期待できることから、スポーツイベント等の誘致に向けて取り組むことが重要です。

国体等の競技を開催した市町などにおいて、スポーツ施設や大会の運営体制が充実したことなどにより、市町における特色ある競技種目等の定着化が期待されています。

トップチームを対象としたスポーツ合宿の実績は、平成22年度13チーム、平成23年度14チーム、平成24年度15チーム、平成25年度17チーム、平成26年度19チームと増加傾向にあり、島原市でのサッカー、五島市での女子陸上、川棚町でのホッケーなど、スポーツが地域ブランドとして定着しつつあります。その中で、地元でのスポーツ教室や交流イベントなどが実施されている事例もあります。

他県においては、施設使用料の減免やチームの旅費・滞在費等の財政負担などにより、スポーツイベント等の誘致を進めている事例が多くなっています。また、合宿誘致を推進するために、天候に左右されない室内練習場の整備も行われています。

国内の各自治体では、日本で開催される2019年のラグビーワールドカップ、2019女子ハンドボール世界選手権大会、2020年の東京オリンピック・パラリンピック参加国のキャンプ誘致に向けた取組が活発化しています。

スポーツイベント等の誘致を促進するためには、専任で取り組む体制の整備や、市町、競技団体、地域の旅館・ホテルなどと連携した受入体制のしくみづくりのほか、実施主体となる市町等における人材育成が重要です。

さらに、大規模なスポーツイベントやスポーツ合宿等を誘致し、地域の多彩な観光資源を結び付けたスポーツツーリズムを推進していくなかで、観光産業以外の産業との連携による新たな産業の創出につなげていく視点も求められています。

## 【施策の方向】

**長崎県スポーツコミッションを活用し、スポーツツーリズムを推進することにより、交流人口の増加や地域の活性化を目指します。**

### ①全国・国際大会の誘致・活用

- 新たに設立する、長崎県スポーツコミッション（以下「スポーツコミッション」という。）を活用し、国体等の開催に向けて整備・充実した施設に大規模なスポーツイベント等を誘致し、地域の多彩な観光資源を結びつけたスポーツツーリズム（※）を推進します。
- 市町や関係団体と連携し、本県のスポーツ振興と地域経済の活性化を図るため、国内外から多くの参加者を呼び込める大規模なスポーツイベントの開催に取り組みます。
- スポーツイベント等の誘致にあたり、実施主体となる市町への開催支援などに積極的に取り組みます。
- 国体競技種目や国体デモンストレーションとしてのスポーツ行事を開催した市町においても、地域に根付かせようとする「わがまちスポーツ」に関連するスポーツイベント等の誘致について支援していきます。
- 県営野球場（ビッグNスタジアム）でのプロ野球公式戦、県立総合運動公園陸上競技場での全国大会や国際試合など、県内スポーツ施設への大規模なスポーツイベントの誘致を進め、県民がトップレベルの試合観戦ができる機会を増やすよう取り組むとともに、誘致しやすい施設環境の充実に向けた検討を行います。
- トップレベルの選手による小・中・高校生等を対象としたスポーツ教室などの開催を支援し、競技力の向上やスポーツを通じた地域における交流を促進します。

---

※スポーツツーリズムとは、スポーツ観戦やスポーツイベントへの参加を目的とし、観光を付加した旅行をすることです。プロスポーツ観戦やマラソン大会参加などのために旅行することや、旅行先でサイクリングを楽しんだり、地域の人たちとスポーツを通じて交流を楽しんだりすることもスポーツツーリズムと言えます。

○全国・国際大会の誘致に当たっては、県内スポーツ施設のマップ作成のほか、観光物産情報等も含めたホームページによる情報発信を積極的に行います。

○大規模なスポーツイベントの開催に当たっては、イベント会場にPRブース等を設置し、来場者に長崎県の魅力を発信するとともに、県内の観光関係団体や企業等と連携し、参加者に対する特典の提供のほか、アフターコンベンション（※）として、長崎ならではのおもてなしをするなど、県内への回遊を促進します。

○首都圏や関西圏などにおいて、県外事務所と連携し、大会のPR及び長崎県の歴史や文化、自然、景観、食、特産品などの魅力を発信し、集客の促進と本県のイメージアップを図ります。

---

※アフターコンベンションとは、シンポジウム・博覧会、スポーツ大会など、コンベンションのあとの催しや懇親会を言います。

## ②スポーツ合宿の誘致拡大・定着化

- スポーツコミッションを中心として、地域の「スポーツで人を呼ぶ」ための戦略的なまちづくりと地域のブランド化を図るため、誘致種目を重点化しながら、集客力のあるトップレベルチームのスポーツ合宿の誘致及び定着化に取り組みます。
- スポーツ合宿を誘致する市町に対して、経費の助成を引き続き行うことにより、地域のサポート体制やチームへのおもてなし、住民との交流など、チームのニーズに沿った合宿の受入体制づくりに取り組みます。また、チームと地元の信頼関係を構築することによりスポーツ合宿を定着させ、スポーツによる地域ブランド化を更に推進します。
- スポーツ合宿の情報や人脈を持つ各競技種目の専門家を「県誘致アドバイザー」として幅広く委嘱し、チーム等の紹介や助言をしてもらうことで、誘致活動を更に促進していきます。また、スポーツコミッションを活用して、スポーツ合宿の誘致・受入を総合的にコーディネートできる人材を育成します。
- 2019年に日本で開催されるラグビーワールドカップ、2019女子ハンドボール世界選手権大会、2020年の東京オリンピック・パラリンピックともに参加国のキャンプ誘致等については、本県スポーツの振興と地域活性化に大きく寄与することから、ターゲット国や種目の重点化を図りながら、情報収集、関係機関へのアプローチ等を行うなど、その実現に向けて積極的に取り組みます。

## ③スポーツを活用した産業振興の検討

- 本県におけるスポーツ関連産業の実態把握、課題の抽出を行います。
- スポーツ関連産業を幅広く捉え、スポーツ施設運営、スポーツ用品製造・販売などのスポーツに直接関わる産業だけでなく、観光、医療、健康増進、リハビリテーション、食品・飲料、ものづくり等スポーツに関連する産業全体との連携、それによる地域経済、雇用への波及効果の創出に向けたスポーツ関連産業の振興を目指します。

## (2)地域密着型クラブチームを活用した地域活性化

### 【現状と課題】

県内で唯一のプロスポーツクラブであるV・ファーレン長崎は、男子サッカーの日本トップリーグであるJリーグに所属しており、その活躍は県民に大きな夢や元気、感動を与え、県民の一体感や郷土愛を育む機運の醸成につながるとともに、地域間・世代間の交流や地域経済の活性化に大きく寄与するなど、本県にとって大切な地域資源です。

また、全国に向けて本県のイメージを向上させるだけでなく、トップレベルの選手等によるスポーツ教室などの交流事業により、スポーツの普及や競技力向上、スポーツを通じた青少年の健全育成にもつながっています。

さらに、全国で活躍するV・ファーレン長崎を活用し、長崎県の観光・物産のPRを行うとともに、地域における新たなビジネス展開を生むことにより、更なる地域のにぎわいづくりや交流拡大等が期待されます。

これらの効果を高めるためにはJリーグの上位カテゴリーに定着させ、県民みんなで応援する機運を盛り上げていく必要があります。

しかしながら、本県には、他県に比べてスポンサーとなる大手企業が少なく、J1昇格に向けたクラブの経営基盤の強化が課題となっています。

併せて、地元実業団チームの活躍も県民に大きな感動を与え、県民の一体感や郷土愛を育む機運の醸成につながります。実業団チームについても、V・ファーレン長崎と同様に、地域密着型チームとして応援していく取組が必要となっています。

## 【施策の方向】

**地域密着型クラブチームを支援し、活用することにより地域の活性化を推進します。**

### ①クラブチームの取組支援

○V・ファーレン長崎の運営基盤の強化を図るため、地域の活性化につながる事業等への財政的な支援を引き続き行うとともに、ホームゲームの集客対策などの活動を推進する人員を確保するため、国や各種団体等の補助事業などを積極的に活用します。

### ②県民みんなで応援する体制づくりの推進

○V・ファーレン長崎を県民みんなで応援するため、県及び県内市町で構成する「V・ファーレン長崎自治体支援会議」を中心に、観客数の増加につながる県民・市民応援デーの開催などホームゲームを盛り上げるイベントを開催し、チームを応援する機運の醸成を図ります。

○クラブチームの魅力や活動状況、試合情報など、県の広報媒体を活用して積極的に情報発信を行います。

### ③クラブチームの活用

○クラブチームと連携して、選手等によるスポーツ教室や地域イベントへの参加など、県民との交流の輪を広げ、スポーツを通じた青少年の健全育成と競技力の向上、地域の活性化を図ります。

○クラブチームと連携して、スポーツ・大会・合宿の誘致に取り組むとともに、スポーツ関連産業で活躍できるスポーツマネージメント人材（※）を育成します。

---

※「スポーツマネージメント人材」とは、スポーツに関する専門知識と実践的な手法を学び、スポーツイベントの企画運営やチーム経営等の分野で活躍できる人材です。

○県内で行われるホームゲームの観客や全国へ向けたテレビ放送などを活用し、「世界遺産登録」や県内観光資源・特産品などの県施策及び地域の「観光イベント」や「グルメ」など、多様な広報・PRに取り組みます。

○「長崎」を広く情報発信し本県のイメージアップを図るため、県外で開催されるアウェイゲームにおいて、本県出身者が多い関東や関西などを中心に県外事務所等と連携した取組を推進します。

○アジア・国際戦略の一環として、中国や韓国などアジア諸国のクラブチームと本県クラブチームとのスポーツ交流について検討します。

#### ④実業団スポーツの振興

○県内企業における、実業団チームの設立へ向けた取組について協力していきます。

○県内の実業団チームについても、地域密着型チームとして応援する機運の醸成を図っていきます。



(C)VVN



(C)VVN



### (3)アジアを中心とした国々とのスポーツ交流

#### 【現状と課題】

本県の重点施策であるアジア・国際戦略の一環として、県では中国や韓国などのアジア諸国との交流が進められています。

長崎県と友好交流関係協定を締結している中国湖北省の武当山は太極拳発祥の地とされており、平成24年度から湖北省の武当武術協会と本県の太極拳団体との太極拳によるスポーツ交流を実施しており、今後は長期的な民間レベルでの相互交流に発展することが期待されています。

現在、県アーチェリー協会と韓国（釜山市アーチェリー協会）が競技力向上の交流協約を結び、互いに切磋琢磨し成果を上げています。また、県ラグビーフットボール協会が、普及や競技力強化を兼ねてニュージーランド遠征を実施しています。更に県としては、スポーツ国際交流員（SEA）を活用した競技団体の取組を支援しています。

長崎市では、伝統行事であるペーロンを通じて、長崎市ペーロン協会と香港ドラゴンボート協会との相互交流を行っている事例もあり、今後、民間レベルでの更なる交流拡大も期待されます。

2019年に国内で開催されるラグビーワールドカップや2020年開催の東京オリンピック・パラリンピックに参加する外国チームが、国内で事前にキャンプを行う可能性が高いことから、交流人口の拡大を目指し、県内スポーツ施設を活用したキャンプの誘致が期待されます。

＜本県スポーツの国際交流の例（平成25年度実績）＞

交流主体	種目	交流国	内容
一般	太極拳	中国	民間団体による相互交流
	バスケットボール	中国	国体成年女子の競技力向上
	アーチェリー	韓国	協会間の協約に基づく国体成年男女の競技力向上
	ホッケー	韓国	国体成年男子の競技力向上
	フェンシング	韓国	国体成年女子の競技力向上
	フェンシング	韓国	国体成年選手の競技力向上
	卓球	オーストリア	国体成年選手の競技力向上
	カヌー	ドイツ・ハンガリー	国体成年選手の競技力向上
	テニス	香港・アメリカ・エジプト	国体成年選手の競技力向上
高校生	アーチェリー	韓国	協会間の協約に基づく国体成年男女の競技力向上
	ラグビー	ニュージーランド	競技団体による国体少年男子の競技力向上
中学生	バレーボール	韓国	地域協会主催の大会に招へい・交流

## 【施策の方向】

スポーツを通じた国際交流を推進していきます。

### ①スポーツ交流イベント等の誘致・開催

- 中国湖北省の武当武術協会と本県の太極拳団体とのスポーツ交流を引き続き進め、長期的な民間レベルでの相互交流に発展できるよう支援していきます。
- 日本を含むアジアの複数国で定期的に行われるスポーツイベントの情報を敏感に捉え、機を逃さないような誘致に取り組みます。
- アジアを中心とした国々とのスポーツ交流や合同練習会等については、今後も指導者と選手の相互派遣を通して、強化策・強化方法等を吸収し、本県の競技力向上を図ります。
- 国体等に向けて整備されたスポーツ施設を活用して、国際大会やスポーツ交流イベント等の誘致に取り組むとともに、2019年に開催されるラグビーワールドカップや2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックへの参加国のキャンプ誘致及び中国・韓国等のトップチームのスポーツ合宿誘致に取り組みます。
- （再掲）アジア・国際戦略の一環として、中国や韓国などアジア諸国のクラブチームと本県クラブチームとのスポーツ交流について検討します。

## (4)スポーツツーリズム推進体制の整備

### 【現状と課題】

Jリーグやプロ野球観戦などの「観るスポーツ」、マラソンやテニス、ゴルフなどの「するスポーツ」、スポーツ大会の運営ボランティアとして参加するなどの「支えるスポーツ」と旅行（観光）を組み合わせた「スポーツツーリズム」を推進し、地域経済の活性化と観光振興を図るためには、スポーツ参加者の動向やニーズを調査し、県有施設の紹介や受入相談を一元的に行う体制の整備が必要です。

スポーツツーリズムを推進するため、「スポーツコミッション」の設立や誘致にかかる推進本部を立ち上げるなど、推進体制を整備している自治体が増えています。

### 【施策の方向】

**県・市町、各種関係団体等官民一体となってスポーツツーリズムを推進していきます。**

#### ①スポーツツーリズムの基盤整備

- 行政機関やスポーツ関係団体、商工関係団体、地域活性化団体など、官民一体となった応援体制を必要に応じて整備し、県民挙げての「おもてなしの心」で歓迎する機運を盛り上げ、大会参加者の長崎ファン創出に向けて取り組みます。
- スポーツイベント等の誘致に向けた講習会や研修会を開催し、地域資源を活用したスポーツツーリズムを総合的にプロデュースできる人材を育成していきます。
- 国体等を契機として養成したスポーツボランティアを今後のスポーツイベント等に活用できるよう「長崎県スポーツボランティアバンク（仮称）」を創設し、大会誘致に向けたスポーツコミッションや誘致団体との連携を図ります。